



インターナショナル新書

## 『DX時代に考える シン・インターネット』

村井純（慶応義塾大学教授）

竹中直純（実業家）

定価：880円（10%税込み）

体裁：新書判／192ページ

発行：集英社インターナショナル（発売：集英社）

ISBN：978-4-7976-8080-5

日本のインターネットの父と天才プログラマーが、

この国のデジタルのこれまでと未来、

その「かたち」について語り尽くす。

インターネットの未来はどちらだ!?



**8月6日(金)発売**



村井純（左） 計算機科学者、工学博士。慶應義塾大学教授。1955年、東京都生まれ。「日本のインターネットの父」と呼ばれる。2013年、インターネットの世界的な発展・進歩に貢献した人物が選ばれる「インターネットの殿堂」入りを果たす。著書に『インターネット』（岩波新書）、『インターネットの基礎』（角川学芸出版）など。

竹中直純（右） 実業家。1968年、福井県生まれ。インターネットの技術コンサルティング、サービス開発、アプリ開発、インターネット技術を用いたイベントの企画・運用などを行うディジティ・ミニミ代表取締役。タワーレコード、ニワンゴ取締役などを歴任。坂本龍一のインターネットライブ、村上龍のインターネット小説などの制作にも協力。 撮影：五十嵐和博

インターネットが日本で急速に定着した

1995年頃から四半世紀が経過。

リモートワーク、サブスクも日常化するなど、

日々、IT、DXによって世界が激しく進歩、変化している。

21年9月、創設されるデジタル庁がやるべきことは？

じつは日本でデジタル化が進んでいないのはなぜか？

——目次より抜粋——

第1章 デジタル庁がやるべきこと

第2章 日本のデジタル化はなぜ進まなかったのか？

第3章 インターネットは何のために生まれたのか？

第4章 デジタル社会の未来はどうなるのか？

特別章 “天才プログラマー” と呼ばれた男

※ぜひ貴媒体にてご紹介をご検討いただけますと幸いです。下記までお問い合わせください。

【本書のお問い合わせ先】

---

集英社インターナショナル

電話 03-5211-2630      公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp>